

雪氷写真館 16



写真 1. 木々についた雨氷. 写真 2. 果樹についた雨氷. つららも観察された.

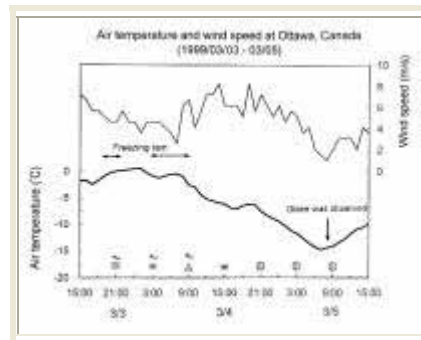


図. 雨氷が形成された時の気象条件 (←→で着氷性の雨が降った時間を示し, ↓で雨氷を観察した時刻を示す)

雨氷

1999 年 3 月 5 日午前 8 時 30 分頃, カナダのオタワ市にある NRC(National Research Council)の構内で, 木々や果樹が透明な氷 ("雨氷": glaze)に覆われ, キラキラと光っている事に気がついた(写真 1,2).

この時のオタワ市内の気象状況(気温,風速,大気現象)を 図 1 に示す. 図では写真を撮影した時刻を矢印(↓)で示した. 3 月 3 日 19 時～21 時と 3 月 4 日 3 時～9 時に着氷性の雨 (Freezing rain: ☔) が降っており, この時は同時に霧(Fog: ☁), 凍雨(Ice pellets: △) や雪(✕)も観測された. 3 月 4 日の 11 時以降, 天気は雪になり, その後 21 時過ぎから晴れた. 「着氷性の雨」は地面や地物に当たると着氷する低温の雨なので, 写真 1,2 に示した雨氷はこの着氷性の雨により形成されたと思われる. この雨が降っていた時の気温は, -0.3

～-2.6℃であり, 風速は 3～7m/s 程度であった. その後, 写真 1,2 を撮影した時まで気温は 0℃以下だったので, 雨氷は 融けずに残っていたようだ.

雨氷を撮影した日は, 他の人も写真を取っていた. 聞いてみると, 「雨氷はさほど珍しい現象ではないが, 青空を背景にした雨氷の 写真は珍しいから」とのことであった. 通常は, 青空になる前に 気温の高い日が来て, 雨氷が融けてしまうのであろうか. なお, 気象データは, Messrs. Bryan Smith and Sandy Radecki (Environment Canada, Canadian Meteorological Center) から提供された.

**南 尚嗣 さん(北見工業大学)撮影
文: 亀田貴雄 会員 (北見工業大学)**